

先端素材高速開発技術研究組合の概要

設立年月日:平成28年7月12日

理事長:腰塚國博(コニカミノルタ株式会社 取締役 常務執行役)

組合員:出光興産、宇部興産、カネカ、コニカミノルタ、JSR、昭和電工、新日鉄住金化学、積水化成品工業、DIC、東ソー、東レ、日本触媒、日本ゼオン、パナソニック、日立化成、古河電気工業、村田製作所、横浜ゴム

【18企業】

事業費:平成28年度 6.7 億円、平成29年度 13.9 億円

事業の概要:先端機能材料の高速開発技術に関する研究開発

○組合設立の目的

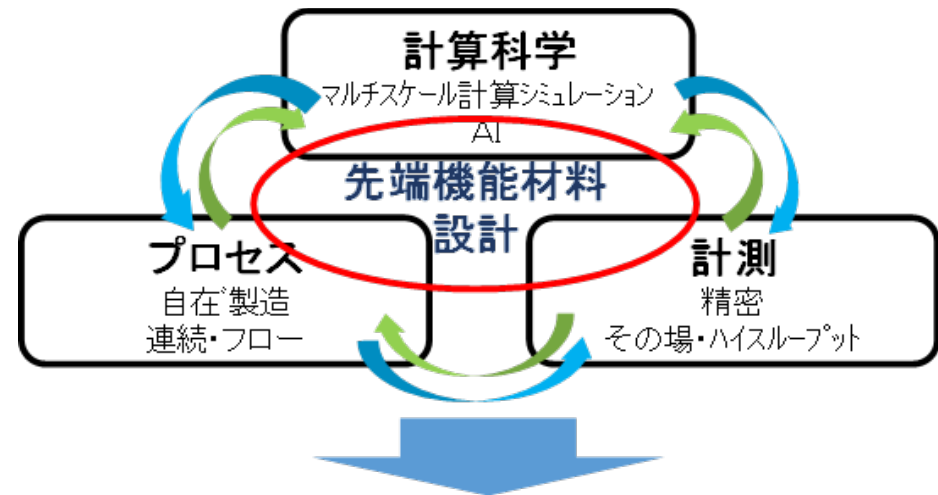
組合員の協同により、計算科学・プロセス技術・計測技術の三位一体を進め、1)先端機能材料の開発速度を高速化するための基盤技術の研究、及び、2)組合員の技術水準の向上を図るための基盤技術の研究、に関する事業を行うこと

○事業化の方向性

先端機能材料の設計のための新たな共通基盤技術として、組合員に関連する研究課題に対応するマルチスケール計算シミュレータ技術、高速且つ自在製造が可能なプロセス技術、及び機能や構造を精密に解析する先端計測技術を開発するとともに、研究開発成果を活用する先端機能材料創出での事業化に向けた課題解決を図る。

○事業化の目途の時期

プロジェクト終了後、5年を目途とする。



研究開発期間・試行回数:1/20

【研究開発体制】

プロジェクトリーダー 村山宣光
(産総研 材料・化学領域)

先端素材高速開発技術研究組合(つくば、名古屋)
ADMAT

(1) 計算機支援次世代ナノ構造設計基盤技術

出光興産、カネカ、JSR、昭和電工、新日鉄住金化学、東ソー、東レ、パナソニック、日立化成、古河電気工業、村田製作所、日本ゼオン

(2) 高速試作・革新プロセス技術開発

宇部興産、コニカミノルタ、昭和電工、積水化成品工業、DIC、日本触媒、横浜ゴム

(3) 先端ナノ計測評価技術開発

出光興産、宇部興産、カネカ、コニカミノルタ、JSR、昭和電工、新日鉄住金化学、積水化成品工業、DIC、東ソー、東レ、日本ゼオン、日本触媒、パナソニック、日立化成、古河電気工業、村田製作所、横浜ゴム

連携

連携

連携

共通基盤技術 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
(場所:つくば、名古屋)

連携

- (1) 計算機支援次世代ナノ構造設計基盤技術: 東北大学(仙台)、筑波大学(つくば)、名古屋大学(名古屋)、名古屋工業大学(名古屋)、東京大学(柏)、京都大学(京都)、大阪大学(豊中)、奈良先端科学技術大学院大学(生駒)、九州大学(福岡)、NIMS(つくば)
- (2) 高速試作・革新プロセス技術開発: 筑波大学(つくば)
- (3) 先端ナノ計測評価技術開発: 京都大学(京都)、高輝度光科学研究センター(姫路)